



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

上場会社名 株式会社カプコン 上場取引所 東
 コード番号 9697 URL <http://www.capcom.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)辻本 春弘
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長執行役員 (氏名)小田 民雄 (TEL) 06(6920)3605
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	14,541	51.9	2,026	59.8	2,135	74.5	1,569	104.9
27年3月期第1四半期	9,575	△45.1	1,268	75.3	1,223	6.3	765	△7.5

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,427百万円(448.2%) 27年3月期第1四半期 442百万円(△76.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	27 91	—
27年3月期第1四半期	13 62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	106,843	72,352	67.7
27年3月期	100,773	71,331	70.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 72,352百万円 27年3月期 71,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15 00	—	25 00	40 00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		15 00	—	25 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	18.2	12,000	13.4	11,700	7.8	7,700	16.4	136 94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	67,723,244株	27年3月期	67,723,244株
28年3月期1Q	11,493,747株	27年3月期	11,493,262株
28年3月期1Q	56,229,729株	27年3月期1Q	56,233,023株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における当業界は家庭用ゲーム市場において、スマートフォンを主体としたモバイルゲームの市場規模が6,000億円を超え、国内市場をけん引するなど、桑田変じて滄海となるような大変化を示すとともに、業界の盟主を巡る覇権争いはますます激化してまいりました。

また、今年の6月に米国で開催された世界最大級のゲーム見本市、エレクトロニック・エンターテインメント・エキスポ(E3)において、当社が出展した「ストリートファイターV」(プレイステーション4、パソコン用)が海外で定着したブランド力により来場者の耳目を集めたほか、仮想現実(バーチャル・リアリティー)ゲームが相次いで公開されるなど、急成長したモバイルゲームに対抗した動きが活発化してまいりました。

こうした状況下、当社は顧客ニーズに応じたプロモーション活動や開発、販売と密接に連携したマーケティング展開を推し進めたほか、パチスロ機部門において昨年9月の型式試験方法変更に適した新商品第一弾の「バイオハザード6」を発売したところ、好調な出足を示すなど、競争環境の急激な変化に対応した事業展開を図るとともに、開発プロセスや収益管理の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高は145億41百万円(前年同期比51.9%増)と増収になりました。利益面につきましても、営業利益20億26百万円(前年同期比59.8%増)、経常利益21億35百万円(前年同期比74.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益15億69百万円(前年同期比104.9%増)といずれも増益になりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① デジタルコンテンツ事業

当事業におきましては、「デビルメイクライ4スペシャルエディション」(プレイステーション4、Xbox One、パソコン用)が底堅い売行きを示したほか、レポート販売やダウンロード版も海外を中心に健闘いたしました。

一方、オンラインゲームは弱含みに展開したほか、モバイルコンテンツも「スマーフビレッジアンドザマジカルメドウ」(iOS用)が順調な滑り出しを示しましたものの、訴求タイトルの不足などにより軟調に推移いたしました。

当第1四半期は、有力タイトルの投入サイクルが端境期となりましたものの、全体として堅調に推移するなど、下期の本格的な攻勢に向けて地均しを行うことができました。

この結果、売上高は62億94百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益11億7百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

② アミューズメント施設事業

当事業におきましては、市況回復の足取りが鈍い環境のもと、各種イベントの開催やサービスデーの実施に加え、顧客ニーズに即応した人気ゲーム機の設置など、様々な活性化策による集客展開により利用者の囲い込みや需要の掘り起こしに努めてまいりました。

しかしながら、市場停滞を反映した消費マインドの低下などにより局面の打開には至りませんでした。当該期間は1店舗を閉鎖しましたので、施設数は32店舗となっております。

この結果、売上高は19億32百万円(前年同期比12.2%減)、営業利益35百万円(前年同期比83.6%減)となりました。

③ アミューズメント機器事業

パチスロ機部門は、満を持して発売した「バイオハザード6」が安定したファン層に支えられ、幸先のよいスタートを切ったことにより順調に販売台数を伸ばすとともに、売上高を押し上げるなど、収益向上のけん引役を果たしました。

一方、業務用機器部門につきましては、「ルイージマンションアーケード」を6月に発売したほか、既存商品のレポート販売主体による営業展開を行ってまいりました。

この結果、売上高は60億42百万円(前年同期比303.2%増)、営業利益17億72百万円(前年同期比182.4%増)となりました。

④ その他事業

その他事業につきましては、主なものはゲームガイドブック等の出版やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は2億72百万円(前年同期比26.2%減)、営業利益50百万円(前年同期比71.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ60億70百万円増加し1,068億43百万円となりました。主な増加は、「ゲームソフト仕掛品」31億59百万円、「商品及び製品」16億52百万円および「仕掛品」14億52百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ50億49百万円増加し344億91百万円となりました。主な増加は、「短期借入金」35億円、「支払手形及び買掛金」22億10百万円および「電子記録債務」10億44百万円であり、主な減少は、「賞与引当金」6億83百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億21百万円増加し723億52百万円となりました。主な増加は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」15億69百万円および「為替換算調整勘定(海外連結子会社等の純資産の為替換算に係るもの)」の変動7億71百万円であり、主な減少は、「剰余金の配当」14億5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月7日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,204	31,236
受取手形及び売掛金	8,005	8,488
商品及び製品	1,225	2,878
仕掛品	1,672	3,124
原材料及び貯蔵品	1,020	577
ゲームソフト仕掛品	16,833	19,993
その他	4,755	4,753
貸倒引当金	△56	△58
流動資産合計	65,659	70,994
固定資産		
有形固定資産	17,328	17,377
無形固定資産		
オンラインコンテンツ仮勘定	7,895	8,779
その他	2,772	2,561
無形固定資産合計	10,668	11,340
投資その他の資産		
その他	7,196	7,209
貸倒引当金	△78	△78
投資その他の資産合計	7,117	7,130
固定資産合計	35,113	35,848
資産合計	100,773	106,843
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,089	5,300
電子記録債務	988	2,033
短期借入金	3,452	6,952
未払法人税等	823	572
賞与引当金	1,832	1,149
その他	7,058	6,212
流動負債合計	17,246	22,220
固定負債		
長期借入金	7,540	7,523
退職給付に係る負債	2,101	2,167
その他	2,554	2,580
固定負債合計	12,195	12,271
負債合計	29,442	34,491

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,239	33,239
資本剰余金	21,328	21,328
利益剰余金	33,801	33,964
自己株式	△18,140	△18,141
株主資本合計	70,228	70,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170	250
為替換算調整勘定	1,215	1,987
退職給付に係る調整累計額	△283	△277
その他の包括利益累計額合計	1,102	1,961
純資産合計	71,331	72,352
負債純資産合計	100,773	106,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	9,575	14,541
売上原価	5,249	8,552
売上総利益	4,326	5,989
返品調整引当金戻入額	42	—
差引売上総利益	4,368	5,989
販売費及び一般管理費	3,100	3,962
営業利益	1,268	2,026
営業外収益		
受取利息	25	23
受取配当金	6	7
為替差益	5	90
その他	49	34
営業外収益合計	86	154
営業外費用		
支払利息	19	26
支払手数料	22	16
店舗閉鎖損失	79	—
その他	9	3
営業外費用合計	130	46
経常利益	1,223	2,135
特別損失		
固定資産除売却損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	1,221	2,134
法人税、住民税及び事業税	240	410
法人税等調整額	215	155
法人税等合計	455	565
四半期純利益	765	1,569
親会社株主に帰属する四半期純利益	765	1,569

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	765	1,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	80
為替換算調整勘定	△357	771
退職給付に係る調整額	5	6
その他の包括利益合計	△322	858
四半期包括利益	442	2,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	442	2,427
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,221	2,134
減価償却費	724	1,029
のれん償却額	33	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△750	△688
受取利息及び受取配当金	△32	△30
支払利息	19	26
為替差損益(△は益)	37	△31
固定資産除売却損益(△は益)	2	0
売上債権の増減額(△は増加)	9,529	△387
たな卸資産の増減額(△は増加)	△642	△2,657
ゲームソフト仕掛品の増減額(△は増加)	△2,716	△3,052
オンラインコンテンツ仮勘定の増減額(△は増加)	△1,311	△884
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,402	3,223
その他	△1,142	△825
小計	△2,433	△2,143
利息及び配当金の受取額	55	51
利息の支払額	△20	△14
法人税等の支払額	△587	△571
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,985	△2,677
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△377	△772
有形固定資産の売却による収入	205	4
無形固定資産の取得による支出	△145	△145
その他	△93	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△412	△909
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,900	3,500
長期借入れによる収入	292	-
長期借入金の返済による支出	△16	△16
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△1,406	△1,406
その他	△91	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,676	1,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△356	583
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,077	△1,047
現金及び現金同等物の期首残高	26,118	27,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,040	26,950

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,506	2,200	1,498	9,205	369	9,575	—	9,575
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,506	2,200	1,498	9,205	369	9,575	—	9,575
セグメント損益	1,131	214	627	1,974	177	2,151	△883	1,268

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△883百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△883百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,294	1,932	6,042	14,268	272	14,541	—	14,541
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,294	1,932	6,042	14,268	272	14,541	—	14,541
セグメント損益	1,107	35	1,772	2,914	50	2,964	△938	2,026

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△938百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△938百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。